

赤崎地区公民館だより

1月号



公民館HP

# あかさき

題字 山基洞宗



暦 こよみ



## 七十二候

七十二候は、古代中国で考案された季節を表す方式で、二十四節気をさらに約5日ずつの3つに分けています。田植えや稻刈りの時期など農作業の目安になる農事暦でもあります。

## 七十二候

- 12月22日～12月25日頃 乃東生(なつかれくさしょうず)  
冬至を境に少しずつ日が伸び、冬越しの植物たちがゆっくりと目覚める様子。
- 12月26日～12月30日頃 壱角解(さわしかのつのおつる)  
一年に一度生え変わる、伝説の珍獣「シフゾウ」の角が落ちる頃（日本鹿は春）。
- 12月31日～1月4日頃 雪下出麦(ゆきわたりてむぎのびる)  
冬枯れの中、青々と続く畦の緑は、春への希望を感じる風景。



ツムラ暦

## ● 二十四節気：小寒 しょうかん 1月5日～1月19日頃

更に寒さが厳しくなる。節分までの三十日間のことを「寒の内」と言う。

## 七十二候

- 1月5日～1月9日頃 芹乃栄(せりすなわちさかう)  
競り合うように伸びるのが名の由来。ビタミン不足を補える貴重な栄養源。
- 1月10日～1月14日頃 水泉動(しみずあたたかをふくむ)  
地中深くでは静かに水が動き出し、凍土は下の方からゆっくりと溶け始めるころ。
- 1月15日～1月19日頃 雉始雊(きじはじめてなく)  
雉が鳴き始める頃。キジは日本の国鳥で、農耕地に暮らす身近な鳥。

## ▶ 2025年 草木染め教室まとめ



6月 玉ねぎの皮染め

10月 あかね染め



10月 セイタカアワダチソウ染め

## 草木染め染料

あかねはインド産。玉ねぎは身边にあるもの。セイタカアワダチソウは嫌われ者。そんな中、マリーゴールドは町から配布される苗から次々と咲く花を、咲いては摘み、乾燥させて集めたもので染めました。染まりにくい木綿にとてもよく染まる材料でした。来年はぜひお試しください。



9月 マリーゴールド染め

## 野良素人のつぶやき



## ▶ この地で使える農暦

今年の夏が暑かったこともすっかり忘れるほど、いつもと変わりなくみぞれや雪が降り始めました。冬至は、一年で一番昼間が短い日ですが、一番日の出が遅く、日の入りが早いわけではありません。国立天文台によれば、日本では日の入りは冬至の半月ほど前が一番早く、日の出は冬至の半月ほど後に最も遅くなります。元旦が過ぎてもしばらく夜明けが遅くなります。朝に注目すると最も暗い時期に当たります。トンドの頃には日に日に朝が早くなっています。新年が来た感じにぴったりです。

旧暦の正月は、年によって変わり、新暦の1月下旬から2月中旬に当たりますので、旧暦の正月にはすでに日出が早く、日没が遅く、昼間の時間が長くなっています。旧暦に関する津波防災の日（11月5日）があります（2011年制定）。津波避難訓練が行われましたので覚えておられる方も多いと思います。

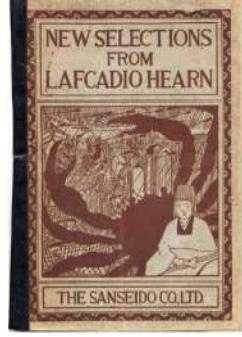
江戸時代末期安政元年11月5日（太陽暦では、1854年12月24日）に発生した安政南海地震で、紀州藩広村（現在の和歌山県広川町）を津波が襲った時、濱口梧陵（儀兵衛）が稻むら（取り入れの終わった稻わらを屋外に積み重ねたもの）に火をつけて、村人を安全な場所に誘導したという実話にちなみます。現在放映中の朝ドラ「ばけばけ」でヘブンとして描かれているラフカディオハーンが明治29年6月15日の明治三陸大津波の後に濱口梧陵をモデルに「A Living God」（生ける神）を書いています。



稻むら

昭和8年3月3日に起きた昭和三陸津波の後、物理学者寺田寅彦は隨筆「津浪と人間」の中で、日本のような、世界的に有名な地震国の中学校では少なくも毎年一回ずつ一時間や二時間くらい地震津浪に関する特別講演があっても決して不思議はないであろうと思われると述べています。昭和9（1934）年文部省の教材公募に、小学校教員中井常蔵はハーンの小説をもとに執筆した「燃ゆる稻むら」で応募し、採択されています。「稻むらの火」は昭和12年から10年間にわたって小学5年生用の国語読本に掲載されました。ハーンは来日する前10年間ほどニューオーリンズに住んでおり、1884年にニューオーリンズで開催された万国工業兼綿百年期博覧会で日本に興味を持ったとのことです。この時、日本館に服部一三がいました。その服部は日本地震学会の初代会長でもあり、1891年から98年まで岩手県知事を務めています。ハーンは、三陸津波の情報を一般の人より詳しく情報を入手できたと想像されます。

ハーンの縁で、松江市とニューオーリンズ市は友好都市になっています。小生は2005年ハリケーンカトリーナが襲った直後にニューオーリンズ市を訪問ましたが、ポンチャートレイン湖畔と宍道湖畔にあるそれぞれの街は、ハーンが居住していたという事以上に、大河（ミシシッピ川と斐伊川）の海ベリの街といった、地理的な共通点があります。



中井常蔵が師範学校で学んだ  
英語テキストの表紙（遺品）

A LIVING GOD

Japan has been swept, at irregular intervals of centuries, by enormous tidal waves—tidal waves caused by earthquakes or by submarine volcanic action. These awful sudden risings of the sea are called by the Japanese tsunami. The last one occurred on the evening of June 17, 1896, when a wave nearly two hundred miles long struck the northeastern provinces of Miyagi, Iwate, and Aomori, wrecking scores of towns and villages, rending whole districts, and destroying nearly thirty thousand human lives. The story of Hamaguchi Gohō is the story of a like calamity which happened long before the era of Hōtoku, in another part of the Japanese coast.

He was an old man at the time of the occurrence that made him famous. He was the most influential resident of the village to which

1. (Japanese) 災厄  
2. (English) 灾厄  
3. (French) Catastrophe

「A Living God」  
の1ページ

(気象庁HP「稻むらの火」より)  
(<https://tinyurl.com/36m4udar>)





寺田寅彦著  
津波と人間



<https://tinyurl.com/375txwdc>



話を暦に戻しましょう。12月24日でもまだ稻に穂がついた状態で田に乾燥のための稻むらがあったとすると、稻刈りは11月下旬、田植えはその4ヶ月前として7月下旬となり、少し遅いのではないかと思われます。梅雨末期の雨を受けて代かきをしてたのでしょうか？広村の村史などで確認しなければなかなかすんなり理解できません。

現在の太陽暦では、ほぼ4年の1回、2月末に1日加えることにより、毎年、太陽の動きと合うように作られていますが、旧暦は閏月を加えることでの調整から想定されるように、○月○日ごろに△△の種を蒔くなどの暦がうまく機能しないのではないかと心配になります。そうなら、「桜の花が咲いたら××を植える」などの方が植物の生理に調和していて、気候変動の影響も含めて植物を栽培するのに適した暦となります。昔の人の農の暦に関する知恵をご存知の方は教えていただけませんか？

これまでに何度か、環境保全型農業に関する話を紹介してきました。農薬や化学肥料を使わずに農作物を育てることは、とっつきにくく感じられがちです。実際、単に農薬や化学肥料を使わなければうまくいく、というほど簡単なものではありません。農薬や化学肥料を使う栽培であって多くの知識が必要ですが、環境保全型農業ではさらに、土壤中の微生物の働きを活発にし、土壤の肥沃度を高めることが重要になります。植物が微生物と共生し、その作物を食べる人も健康になれる、そんな好循環を目指しているのです。

## 野良素人のつぶやき



## ▶ この地で使える農暦

ちょうどこの原稿を準備していた折に、1月号の『現代農業』が手に入りました。「高温時代の米つくり 超きほんのき」と題した特集で、多くの興味深い記事が掲載されています。その中に、神奈川県相模原市的小川氏によるイネの多年草化栽培（98ページ）があり、注目すべき取り組みが紹介されていました。新温泉町内には温泉が点在しており、雪の降る寒冷地ではありますが、他の寒冷地に比べると可能性があるのではないかと感じました。記事によると、手間は通常の4分の1ほどで済み、自給農や半農半Xに向いているとのことです。先月紹介した『土・牛・微生物』にも、新しい多年生穀類作物の話が出てきます。イネに限らず、野菜も他の草に負けない大きさまで育てる初期管理が大変なだけに、「多年草化」という視点は今後ますます重要になるのではないかと思います。

高温時代の米つくり 超きほんのき  
ちゃんととる たくさんとる 2026

2025年秋、米の概算金は「令和の米騒動」の影響でビックリする高値となりました。ところが一方、近年は異常気象や夏の暑さによって、米の収量や品質が下がっているという話も聞きます。そこで今回、燃える気持ちが空回りにならないよう、イネのきほんをイチから見直す大特集を組みました。



<https://gn.nbkbooks.com/?p=50847>

先日、師走の土曜日に開かれた日高町吹奏楽団の定期演奏会に出かけました。久しぶりに豊岡方面まで足を延ばしたので、斎藤隆夫生誕の地にある静思堂（<https://tanshin-kikin.jp/tajima/48>）と、東井義雄記念館にも立ち寄りました。静思堂は灯台躰躅に囲まれた庭が印象的で、葉を落とした今の姿も趣がありましたが、紅葉の季節にもぜひ再訪したいと思いました。



斎藤隆夫衆議院議員の反軍演説（全文）



<https://tinyurl.com/3rcb847s>

東井義雄記念館（<https://touji-yoshio.org/>）ではビデオを鑑賞し、いくつかのメッセージに触れることができました。中でも「根を養えば、樹はおのずから育つ」という言葉が心に残りました。これは、心の根である「感性」、学びの根である「考える力」、生活の根である「習慣」を丁寧に耕し育てることで、人は真に成長する、という意味だそうです。耕すことが農の代表的な作業であった時代において、人の育ちを「耕す」という言葉で表したのは、実に的確な比喩だったのではありますか。

今後、環境保全型農業が広く普及し、不耕起栽培が当たり前になったとき、人の育ちを表す言葉はどのように変わっていくのだろうかと、ふと考えました。また、土壤の中では無数の微生物が働き、中には岩石の破片からミネラルを取り出して植物に供給するものもいる、ということが広く知られるようになれば、「多様性」という言葉がより重みを持つようになるでしょう。それは、一人一人がそれぞれ意味を持ち、皆が重要な存在であるという東井義雄の教えとも重なります。20世紀末以降に明らかになった土壤微生物の新しい知見を踏まえても、色あせることのない言葉だと感じます。

本

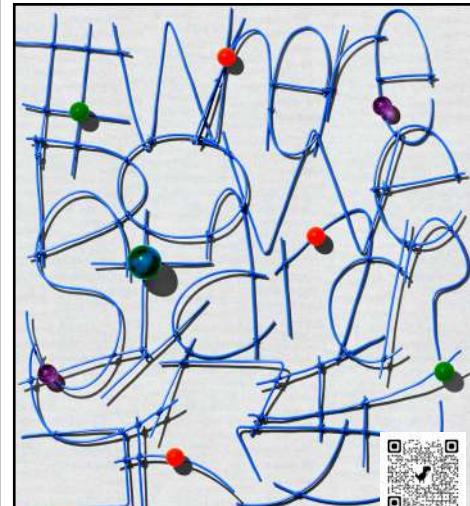
立ち読み



## 東井義雄著：村を育てる学力

<https://tinyurl.com/4exrcjd6>

昭和32年、12年間の沈黙を破って明治図書から出版された教育実践記録である。小さな山奥の、つっぽり学校といわれ何時倒れてもおかしくない相田小学校でハツラツとして営まれた、教育の報告であった。ほんものの学力とは、「子どもの感じ方、思い方、考え方、生き方、その論理の歯車にかみ合った力でなければならない。これを『生活の論理』といい、この上に教科の道筋はあくまで教師が主導権を持つという『教科の論理』を加えて東井義雄の学力観は成立している。

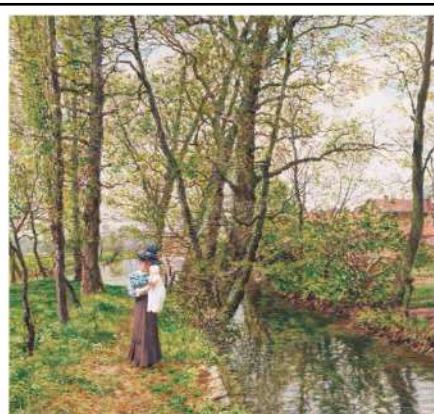


2025年12月20日(土)~2026年3月8日(日)  
京都国立近代美術館(赤崎公園内)  
Sat., December 20, 2025~Sun., March 8, 2026  
The National Museum of Modern Art, Kyoto

#WhereDoWeStand?—Art in Our Time  
セカイノコトワリ—私たちの時代の美術

- 日本の祝日
- 日食・月食・日面経過(国立天文台暦計算室)
- 旧暦カレンダー(日時説)
- 二十四節気・雑節(国立天文台暦計算室)
- 六曜

- 学校
- 地域祭事など
- 展覧会・公演
- 赤崎4地区行事
- 地域行事



THE MODERN ARTS  
やすらぎの近代絵画 —ユニマットコレクション ミレーからワイスまで—  
OF RESTFUL BEAUTY  
UNIMAT COLLECTION - From Millet to Wyeth  
神戸ファッション美術館  
Kobe Fashion Museum

2025.11.22sat-2026.1.18sun

- 朔弦望(国立天文台暦計算室)
- 公民館

2026年1月



ミャンマー地震 義援金 子どもNGO懐  
但馬銀行浜坂支店 普通  
4615178 ヒトチキュウノキキン 宛



小さなあの子が、戦闘から逃れ故郷を後にする。  
小さかったあの子が、前線に行く。  
いま、ウクライナと周辺国で緊急に必要とされている支援とは。



特定非営利活動法人(認定NPO法人)  
パレスチナ子どものキャンペーン



| 日   | 月                        | 火                | 水  | 木                 | 金                                      | 土                                |
|---|--------------------------|------------------|--|-------------------|--|----------------------------------|
| 28日   | 29日                      | 30日              | 31日  | 1日                | 2日                                     | 3日                               |
| 先勝<br>旧暦11月9日   | ■消防年末…浜坂地域<br>友引         | ■消防年末…温泉地域<br>先負 | 大晦日<br>楞厳寺除夜の鐘                             | 元日<br>大安          | 銀行休業日<br>リフレッシュ…新春抽選会                  | 銀行休業日<br>先勝                      |
| 4日  | 5日                       | 6日               | 7日   | 8日                | 9日                                     | 10日                              |
| ■ぜんざい…るまい(牧公)<br>友引   | 先負<br>小寒                 | 田井いきゞ百歳体操<br>仏滅  | 赤崎いきゞ百歳体操<br>■小・中学校 始業式<br>■浜坂高校 始業式<br>大安 | ■湯村薬師祭<br>赤口      | ■美方広域…出初式(消本)<br>先勝                    | ■スキー教室(牧公)<br>■新春かるた大会(夢木)<br>友引 |
| 11日   | 12日                      | 13日              | 14日  | 15日               | 16日                                    | 17日                              |
| ■町二十歳の…(夢木)<br>■鳴滝目指…グ(上山)<br>先負<br>下弦  | 成人の日<br>仏滅               | 田井いきゞ百歳体操<br>大安  | 赤崎いきゞ百歳体操<br>■どちのみ…講座(夢木)<br>赤口            | ■宇都野学…祭(多目)<br>先勝 | ■年賀はがきコンクール(多目)<br>■友引                 | ■スキー教室(牧公)<br>先負<br>土用の入り        |
| 18日   | 19日                      | 20日              | 21日  | 22日               | 23日                                    | 24日                              |
| ■年賀はがきコンクール(多目)<br>■雪上ゲーム体験(牧公)<br>仏滅   | 赤口<br>朔(新月)              | 田井いきゞ百歳体操<br>大寒  | 赤崎いきゞ百歳体操<br>友引                            | ■公民館だより発行<br>先負   | ■町新春書き初め展(多目)~1/26<br>■浜坂北小スキー教室<br>仏滅 | ■スキー教室(牧公)<br>大安                 |
| 25日   | 26日                      | 27日              | 28日  | 29日               | 30日                                    | 31日                              |
| ■町新春書き初め展(多目)~1/26<br>■雪玉スト…ウト(牧公)<br>■麒麟のま…エス(BG)<br>赤口                      | ■いい風呂…ゆ～らく館)<br>先勝<br>上弦 | 田井いきゞ百歳体操<br>友引  | 赤崎いきゞ百歳体操<br>先負                            | ■浜坂東小 スキー教室<br>仏滅 | ■スキー教室(牧公)<br>赤口                       |                                  |
| ▼移動図書館 第4水曜<br>和田 14:25-14:40 赤崎 14:50-15:05<br>田井 15:50-16:05 指杭 16:10-16:25 |                          |                  |  |                   |  |                                  |

赤崎地区公民館HP

<https://akasaki.site/>

FAX (0796)82-5563

電話(携帯) 090 8233 0843

Mail [akasakicc@icloud.com](mailto:akasakicc@icloud.com)

メールアドレスQRコード→

